

弾道ミサイル発射時の全国瞬時警報システム(Jアラート)発令時の対応について

令和6年度八戸市立小中野中学校

北朝鮮による弾道ミサイル発射における対応

<生徒自身の危険回避行動>

1 学校でミサイル発射の警報等を聞いたとき

※教職員が以下の指示を行って、安全を確保します。

(1) グラウンドなど外にいる場合は、速やかに校舎内に入る。

(2) 校舎内では、机の下に隠れるなど、身の安全を確保する。

(状況によっては)

- ・ドアや窓、カーテンを全部閉める。
- ・できるだけ窓から離れて外を見ない。
- ・机など丈夫なものに隠れ、身を低くし、頭部を守る。

2 屋外でミサイル発射の警報等を聞いたとき

(1) できる限り速やかに建物の中に避難する。

- ・できればコンクリート造りの建物や地下施設に避難する。

(2) 近くに適切な建物がない場合は、以下のようにして身を守る。

- ・物陰に隠れ、身を低くし、カバン等で頭部を守る。
- ・地面に伏せカバン等で頭部を守る。

3 家庭でミサイル発射の警報等を聞いたとき

(1) 屋内にとどまり、テレビやラジオなどからの情報を得よう努める。

- ・ドアや窓を全部閉める。
- ・できるだけ窓から離れて外を見ない。できれば窓のない部屋に移動する。
- ・机など丈夫なものに隠れ、身を低くし、布団や枕で頭部を守る。

4 近くにミサイルが落下したという情報があった場合

【屋外にいる場合】

- ・口と鼻をハンカチで覆う。
- ・現場から直ちに離れ、建物の中に避難する。
- ・万が一落下物らしきものを発見した場合は、決して近寄らず、すぐに警察・消防・学校に連絡する。

【屋内にいる場合】

- ・換気扇を止め、窓を閉める。
- ・ガムテープなどで目張りをして室内を密閉する。
- ・できるだけ窓のない中央の部屋へ移動する。